

A-108 食品の嗜好に関する研究 第5報 食品の嗜好類似性について  
 帯廣大谷短大生活科学山下昭・池添博彦

目的 人間生活の中で特に繋りの深い食生活における人の嗜好について分析を進めた。今までは嗜好に影響を及ぼす因子、親子間の嗜好の類似性等について検討したが、今回は食品間の嗜好面から見た類似性について報告する。

方法 16才から20才までの女性を対象に、15群、82種の食品について、各々の群における食品間の嗜好に向する類似性を求めた。類似性は個々の対象の食品に対する Hedonic Scale Value の相関係数を算出し、その値の比較によって検討した。相関はピアソンの相関係数による。

結果 相関係数は負値が殆どなく、大部分が0から1の間にあり、1.0に近いものほど嗜好の類似性が高く、値が低くなるほど類似性が減少して行く。代表的なものを示すと以下の通りである。

タロ : カレイ	0.4310	ブドウ : イチゴ	0.5547	トマト : キウイ	0.5237
牛肉 : 豚肉	0.6194	ミカン : リンゴ	0.2949	ニンジン : ネギ	0.4204
カニ : ホタテ	0.4092	ブドウ : スイカ	0.5950	セロリ : ニンジン	0.2991
カキ貝 : カニ	0.4698	ケーキ : チョコレート	0.7592	ソバ : ヨーゲン	0.5576
カニ : エビ	0.7904	油アゲ : 高野豆腐	0.5558	ソバ : トモロコシ	0.1236
ミカン : イチゴ	0.6763	カンモドキ : 高野豆腐	0.4555	ヨーゲン : ヨーゲン	0.2857
イチゴ : バナナ	0.3028	大根 : キウイ	0.5944	ヨーゲン : ソバ	0.1142
スイカ : イチゴ	0.3112	ネギ : ミイタケ	0.4136	うどん : ヨーゲン	0.5334